



Wireless Data Collector RTR-57U

取扱説明書

お買い上げありがとうございます。 取扱説明書をよくお読みいただき、 正しくお使いください。

> © Copyright T&D Corporation. All rights reserved. 2009. 04 16004454300 第7版

本書に関しての注意

本製品を正しくお使いいただくために本書を必ずお読みください。 パソコンの故障およびトラブルまたは取り扱いを誤ったために生じた本製品の 故障およびトラブルは、弊社の保証対象には含まれません。

- 本書の著作権は、株式会社ティアンドデイに帰属します。本書の一部または全部を 弊社に無断で転載・複製・改変などを行うことは禁じられています。
- Microsoft, Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における 登録商標です。
 また、Windows Vista ™は、米国 Microsoft Corporation の米国におけるトレードマー
- クです。
 使用及び表示されている商標、サービスマーク及びロゴマークは株式会社ティアン
- ドデイ及びその他第三者の登録商標または商標です。「おんどとり」、「TANDD」、「T&D」 の文字、ロゴは株式会社ティアンドデイの登録商標です。
- 本書に記載された仕様・デザイン・その他の内容については、改良のため予告なし に変更することがあります。
- 本書に記載した安全に関する指示事項には、必ず従ってください。本来の使用方法 ならびに本書に規定した方法以外でお使いになった場合、安全性の保証はできません。
- 本書に記載した画面表示内容と、実際の画面表示が異なる場合があります。
- 本書の内容に関しては万全を期して作成しておりますが、万一落丁乱丁・ご不審な 点や誤り・記載漏れなどがありましたらお買い求めになった販売店または弊社まで ご連絡ください。

また、本製品の使用に起因する損害や逸失利益の請求などにつきましては、上記に かかわらず弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 本製品は一般の民生・産業用として使用されることを前提に設計されています。人 命や危害に直接的または間接的に関わるシステムや医療機器など、高い安全性が必 要とされる用途にはお使いにならないでください。
- 本製品の故障および誤動作または不具合によりシステムに発生した付随的傷害、測 定結果を用いたことによって生じたいかなる損害に対しても当社は一切の責任を負 いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書は再発行致しませんので、大切に保管してください。
- 保証書・無料修理規定をよくお読みください。

i

安全にお使いただくために必ずお守りください。

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いい ただくために守っていただきたい事項を記載しました。

正しく使用するために、必ずお読みになり、内容を良く理解された上でお使いくだ さい。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

▲ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の 注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可 能性が想定される内容を示しています。	
▲ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者が傷害および、物 的損害の発生が考えられる内容を示しています。	

絵記号の意味

\bigtriangleup	警告・注意を促す記号です。記号の中や近くに具体的な警告内容が描 かれています。 (例: <u>A</u> 感電注意)
\bigcirc	禁止行為を示す記号です。記号の中や近くに具体的な禁止内容が描か れています。(例:①分解禁止)
	実行しなければならない行為を示す記号です。記号の中や近くに具体 的な指示内容が描かれています。 (例: 🍞電源プラグをコンセントから抜く)

はじめに

	⚠警告
日 厳守	本製品を取り付け、使用する際に、必ずパソコンメーカーが提 示する警告・注意指示に従ってください。
分解禁止	本製品の分解や改造、修理は自分でしないでください。 火災や感電の原因になります。
○ 禁止	本製品内部に液体や異物が入ってしまった場合は、すぐに電源 を OFF にし、電池を抜き、使用を中止してください。 そのまま使い続けると、火災や感電の原因になります。
全 禁止	風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しない でください。 火災や感電、故障の原因になります。
日前	RTR-57U本体・電池・通信ケーブルは、お子様の手の届かな い所に設置、保管してください。 さわってけがをしたり、電池を飲み込むと危険です。
公 禁止	パソコンおよび、データロガーに接続されている通信ケーブル を電話回線に接続しないでください。 そのまま使い続けると、火災や故障の原因になります。
公 禁止	煙が出たり、変な臭いや音がした場合は、すぐに電源を OFF にし、電池も抜き、使用を中止してください。 そのまま使い続けると、火災や感電の原因になります。
公 禁止	本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。 与えてしまった場合は、すぐに電源を OFF にし、電池も抜き、 使用を中止してください。 そのまま使い続けると、火災や感電の原因になります。

	▲注意
日 厳守	本製品は防水構造ではありません。 汚れた場合は、中性洗剤をしみ込ませた清潔な布で拭いてくださ い。
公 禁止	通信ケーブル接続ジャックには指や異物を入れないでください。
<u>入</u> 注意	電池寿命は、電池の種類・測定環境・通信回数・周辺温度・乾電 池の性能等により異なります。
公 禁止	指定以外の電池は使用しないでください。 火災や故障の原因になります。
○ 禁止	AC アダプタは専用以外のものは絶対に使用しないでください。 火災や故障の原因になります。
① 厳守	長時間本機を使用しない場合は、安全のため電池を取り外してく ださい。 電池を入れたままにしておくと、液漏れする恐れがあり、故障の 原因になります。
日 厳守	電池端子は、経時変化・振動等により接触不良になる恐れがあり ます。 電池の接触不良によってデータが失われることがあります。
① 厳守	温度差の激しい環境間を急に移動した場合、結露する恐れがあり ます。 本製品は周辺温度:0℃~50℃・湿度:90% RH 以下(結露しな いこと)で使用してください。
○ 禁止	薬品や有害なガス・油などにより本製品等が腐食する恐れがあり ます。また、有害な物質が付着することにより人体に害をおよぼ す恐れがありますので、薬品や有害なガス等の影響を受ける環境 では使用・保存しないでください。

はじめに

厳守

静電気による破損を防ぐために、本製品に触れる前に身近な金属 (ドアノブやアルミサッシなど)に手を触れて、身体の静電気を 取り除くようにしてください。 人体などからの静電気は、本製品の破損やデータの損失・破損の 原因になります。

次の場所では使用・保管しないでください。 感電・火災の原因になったり、製品やパソコンに悪影響をおよぼ

禁止 すことがあります。

- 直射日光が当たる場所 内部の温度が上がり、火災や故障、変形の原因になります。
- 強い磁界が発生する場所 故障の原因になります。
- 漏水の危険がある場所
 故障や感電の原因になります。
- 静電気が発生する場所 故障の原因になります。
- 振動が発生する場所 けが・故障・破損・接触不良の原因になります。

平らでない場所 転倒したり、落下して、けがや故障の原因になります。 火気の周辺または、熱気のこもる場所 故障や変形の原因になります。

 ・火煙・ちり・ほこりの多い場所 故障の原因になります。

▲ 電波法に関する注意事項

本製品は、電波法に基づく特定小電力無線機器として、技術基準 適合証明(利用に関してはお客様の免許申請等が不要)を受けて います。必ず次の点を守ってお使いください。

- 分解・改造をしないでください。分解・改造は法律で禁止され ています。
- 技術基準適合ラベルははがさないでください。ラベルのないものの使用は禁止されています。
- この製品は日本国外での電波法には準じておりません。日本国内でご使用ください。

ご使用の前に

インストール手順にご注意ください!(本製品をUSB通信で使用される場合) 本製品とパソコンとの USB 通信を行うには、アプリケーションおよび USB ドライバのインストールが必要です。

本製品をパソコンに接続する前に、先にアプリケーションおよび USB ドラ イバをインストールしてください。 インストール前に接続すると、正常に USB ドライバがインストールされない場合がございます。

USB ドライバのインストール前に本製品とパソコンを接続した場合は、パソ コンの画面に表示されるウィザード画面の[キャンセル]ボタンをクリック し、本製品から USB ケーブルを抜いてください。

インストールについての詳しい手順は、付属の "T&D Recorder for Windows" のアプリケーションマニュアルに記載されております。

◆ Windows Vista の場合



◆その他の OS の場合

以下の画面は Windows XP ですが、Windows XP 以外の OS も画面デザインは異な りますが、Windows XP 同様画面の右下に [キャンセル] ボタンがあります。



はじめに

もくじ

はじめに

安全上のご注意	.ii
ご使用の前に	/ii
データコレクタ RTR-57U とは	1
パッケージ内容	4
各部名称とはたらき	5
・ボタン機能	5
・< ジョグダイヤル > の使い方	6
・液晶画面の主なマークについて	7

準 備

電池をセットする	9
電源を入れる(ON / OFF)	9
日付・時刻を合わせる	10
準備:パソコンとの通信	11
・USB 通信:パソコンと RTR-57U の通信	11
・パソコンとデータロガーの通信	12
・シリアル通信:パソコンと RTR-57U の通信	13
データロガーとの通信	14
・無線通信:RTR-5 シリーズ・RVR-52	14
・光通信:RTR-5 シリーズ・RVR-52・TR-5S シリーズ・TR-5 シリース	C 16
・ケーブル通信:TR-7 シリーズ	16

基本的な機能

無線通信	17
・使用するデータロガーの子機登録	17
・記録モードと記録間隔の設定	18
・記録開始時刻(即時スタート / 予約スタート)の設定	20
・無線通信による記録開始の禁止	21
・記録データを吸い上げる	22
・記録データ吸い上げ後のメッセージ	24
光通信とケーブル通信2	25
・光通信 / ケーブル通信	25
・記録モード / 記録間隔の設定	27

・記録開始時刻(即時スタート / 予約スタート)の	設定29
・記録データを吸い上げる	
・記録データ吸い上げ後のメッセージ	
グラフ画面	32
イベントリスト画面	

その他の機能

上下限値設定	õ
子機状態を表示	3
子機の検索40)
・他の RTR-57U で登録した子機を検索する41	1
モニタリング	2
・モニター表示範囲	3
・モニター間隔	3
・モニタリングの通信時間について44	4
保存データを表示・消去する45	5
・保存データリストの見方45	ō
・グラフまたはイベントリストを表示する46	ô
・指定したデータを消去する:個別消去47	7
・全てのデータを消去する:全データ消去45	Э
電波の使用状況を確認する50)
その他の機能:動作設定51	1
・表示コントラスト51	1
・バックライト	1
・操作ブザー51	1
・メモリー使用量を確認する 52	2

その他

メニュー一覧	
製品仕様	
オプション	
保証書	裏表紙

х

はじめに

準

備

基本的な機能

その他の機能

その他

データコレクタ RTR-57U とは

概要

RTR-51/52/52Pt(温度)・RTR-53(温度・湿度)・RVR-52(電圧/パルス/イ ベント)および、それぞれの大容量バッテリタイプ(以下省略)で測定・記 録したデータを、特定小電力無線データ通信機能によって RTR-57U に吸い 上げ、あとからパソコンと RTR-57U を接続し、データの解析等ができます。 その他に、TR-5S シリーズ、TR-5 シリーズ、TR-7 シリーズ、VR-71 で記録 したデータも RTR-57U を使うとデータロガー本体を回収することなく、現 場でデータ収集や記録開始、データのチェックができます。

基本的な機能

ワイヤレス通信機能(無線通信機能)

RTR-51/52/52Pt/53・RVR-52 で記録したデータを特定小電力無線で収集できま す。収集以外にも記録の設定や記録開始などが行えます。無線通信距離は障害物 のない見通しのいい直線距離で約 100m です。

注意

- 無線通信にてデータ収集を行う場合は、あらかじめパソコンで RTR-51/52/52Pt/53・RVR-52 を 子機として設定しておく必要があります。

1 台の RTR-57U に最大 3840 台登録可能

RTR-57U では、RTR-51/52/52Pt/53・RVR-52 をグループごとに管理し、1 台の RTR-57U に対して 60 グループ、1 グループあたり 64 台の登録設定ができます。 また、パソコンからの設定により1 台の RTR-57U に対して 15 グループ、1 グルー プあたり 250 台の登録設定も可能です。

モニタリング機能

RTR-57U を使用し RTR-51/52/52Pt/53・RVR-52 を巡回通信し、現在値を順次 液晶に表示するモニタリング機能も装備しています。

注意

 -常時モニタリングを行った場合は、常に通信を行うためRTR-51/52/52Pt/53・RVR-52の電池寿 命は短くなります。1分毎に連続でモニタリングを行った場合の電池寿命は約4ヶ月です。

多機種の記録データを簡単収集

RTR-51/52/52Pt/53・RVR-52 は無線通信または、本体の前面に乗せて吸い上げます。TR-5S シリーズとTR-5 シリーズは本体の前面に乗せて吸い上げます。 TR-7 シリーズ、VR-71 は付属の通信ケーブルで接続して吸い上げます。 はじめに

256000 データ収集可能

例えば、RTR-51のフルデータ(16000データ)を16台分収集できる大容量です。 また、フルデータでなければ最大250回分のデータを収集し管理できます。

グラフ表示

RTR-57U で吸い上げた温度・湿度・電圧・パルスのデータをその場でグラフ表 示できます。<ジョグダイヤル>や本体前面のボタンによって左右にスクロール でき、データ確認が簡単にできます。

イベントリスト表示

RVR-52 で記録したイベントデータを RTR-57U で吸い上げ、その場でリスト表示できます。< ジョグダイヤル > や本体前面のボタンによって上下にスクロールでき、データ確認が簡単にできます。

< ジョグダイヤル > であらゆる操作が可能

<ジョグダイヤル>を上下に回転させメニューの項目等を選択し、押すと操作が 決定されます。

吸い上げ時に測定値をチェック

RTR-57Uに測定値の上限値・下限値を設定しておくと、データ吸い上げ時にその値をチェックし、判定を行い、判定結果を表示します。

注意

- RTR-51/52/52Pt/53・RVR-52 は個々で上下限値が設定されている場合、個々の設定値を優先します。

記録条件設定も可能

RTR-57Uはデータの吸い上げ以外にも、データロガーに対して記録モード・記録間隔・記録の即時スタート / 予約スタートの設定ができます。

これにより、パソコンが無ければ記録設定ができなかった機種でも現場で簡単に 記録の設定ができます。

電池寿命警告を表示

電池電圧が低下すると、液晶に電池寿命警告マークが点灯します。更に電池電圧 が低下すると、自動的にスリープモードになります。 液晶に電池寿命警告マークが点灯してから、更に電池電圧が低下すると、保存 データを保護するため、自動的にスリープモードになり通常の動作を停止し、本 体の電源が入らなくなります。電池交換のとき、それまで24時間以上電池が入っ ていた場合、電池を外しても保存データは約5日間バックアップされます。

注意

- 消耗した電池の状態で放置した場合、データは約1ヶ月で消失します。

単4アルカリ電池で約100時間連続使用可能

RTR-57U は独自の低消費電力回路により、単4アルカリ電池2本で約100時間 の連続動作が可能です。更に無駄な電池消費を防ぐオートパワー OFF 機能も搭 載しました。

注意

- 電池寿命は、電池の種類・測定環境・通信回数・周辺温度等により異なります。本説明は新しい電池を使った時の標準的な動作であり、電池寿命を保証する物ではありません。

オートパワー OFF 機能搭載

電池の消耗を防ぐために、電源を入れたまま3分間操作しないと自動的に電源 が切れます。

バックライト付き

暗い場所でも液晶が見やすいようにバックライトを搭載しました。バックライト の ON/OFF はメニューで簡単に切り替えられます。

また、バックライトは電池の消耗をさける為に、操作しないと数秒で自動的に OFFになり、操作を開始すると自動的に ON になります。

注意

- 外部電源(専用 AC アダプタ AD-0601)使用時にバックライト ON にしてある場合、バックラ イトは常時 ON になります。 は

Ũ

パッケージには以下のものが含まれております。



Wireless Data Collector RTR-57U 1台



USB 通信ケーブル (US-15C) 1 本



本体取扱説明書・保証書(本書) 1部 ソフトウェア取扱説明書 1部



T&D Recorder for Windows CD-ROM 1枚



単4アルカリ電池 2本

各部名称とはたらき

各部の名称



ボタン機能



<Collect> ボタン

- 無線吸い上げでのグループ選択画面を表示します。
 - グラフ / イベントリスト表示時に高速スクロールできます。
 - ト下限値判定の数値変更時に数値を高速に変化できます。



<List> ボタン

- 吸い上げたデータの一覧を表示します。

- グラフ / イベントリスト表示時に高速スクロールできます。
- 上下限値判定の数値変更時に数値を高速に変化できます。

<POWER> ボタン

- 電源を入れる、または切ります。(P.9 参照)

<ジョグダイヤル>の使い方



<ジョグダイヤル>を回す

- 上または、下に回すと矢印が移動し、項目の選択ができます。 (選択されている項目は反転表示されます)
- 数値を設定する場合、上に回すと数値が大きくなり、下に回すと数値が 小さくなります。

<ジョグダイヤル>を押す

- メニューの選択、設定完了時に押すと、実行または、決定になります。
- 電源を入れる。(P.9 参照)
- 各画面で長押し(約1.5秒)すると、画面ごと違うはたらきをします。

例:

- グラフ画面で長押しすると、表示チャンネルの切り替わる。
- -各メニュー画面や設定画面、イベントリスト画面で長押しすると、メインメニュー画面に戻る。

注意

<ジョグダイヤル>から電源は切れません。<POWER>ボタンを押してください。

液晶画面の主なマークについて

メインメニュー画面

<u>ーンイン メニュー</u> ロークスイアゲ WL キ ケンサク WL ニタリング

= キロク カイシ

タ スイアゲ ソウサ・リスト

E.

<u> –</u> – – –

IWI 1 '07.10.10 16:14 無線诵信用のメニューです。

[-+]]

雷池雷圧が低下すると点灯し、雷池消耗を知ら せます。(P.9 参昭)

'07.10.10 16:14 ロメイン メニュー WIデータスイアゲ WIIコキ ケンサク WEモニタリング スイアゲ ソウサ・リスト ⇒=□ク カイシ

▲ショウカゲンセッテイ
 メニュー
 ▲ショウカゲンセッテイ

2007.10.10 16:14 (OK) (キャンセル)

-ウサブ・ ザ-

ロジコク セッテイ

ショウキョ

[<>]

現在<ジョグダイヤル>で選択されている項目 です。<ジョグダイヤル>を回すと矢印は移動し ます。押すと実行されます。

非表示部分に、更にメニュー項目があることを 表示しています。

[[OK]]

条件などの設定後、<ジョグダイヤル>を[OK] に合わせて押すと、設定が完了します。



[【モドル】] 条件などを設定後、矢印を[モドル]に合わせて 押すと、設定が完了し、メニュー画面に戻ります。

EEC □コキメイ センタク ☆[モードル] グループ イッカツ Sample 1 (◆s)ample 3 [**ヶ**] 子機検索後、子機選択画面で、現在無線通信が可 能な子機が登録されているグループと、無線通信 が可能な子機名の頭に表示されます。

記録データ表示画面



グラフ画面

温度・湿度・電圧・パルスのデータを RTR-57U で吸い上げると、グラフが表示されます。 詳しい画面説明は、P.31 を参照してください。

773/8000
ロイベントリスト
▲ '05.04.24 08:10.11 ↑
'05.04.24 08:10.10↓
'05.04.25 08:10.09 †
'05.04.25 08:10.08↓
°05.04.25 08:10.07 \$
▼'05.04.25 08:10.06↑

イベントリスト画面

RVR-52 で記録したイベントデータを RTR-57U で吸い上げると一覧が表示されます。 詳しい画面説明は、P.33 を参照してください。

進備

RTR-57Uを正しく動作するために必要な事項です。

電池をセットする

付属の単4アルカリ電池2本を図のようにセットしてください。市販の単4 Nicd 電池、単4ニッケル水素電池 (1.2V) も使用できます。



注意 - 2本とも同じ種類の電池を入れてください。 - +/-を間違えないようにセットしてください。 - RTR-57U本体から電池の充電はできません。 - 外部電源を使用する場合は、電池は必要ありま せん。

[-+]] 電池寿命警告マークについて

電池電圧が低下すると液晶表示部に電池寿命警告マークが点灯し、電池の消耗を 知らせます。更に低下すると、記録データ保護のため自動的にスリープモードに なり、通常の動作を停止し、本体電源が入らなくなります。

完全に電池がなくなるとデータが消失してしまうので、早目に電池交換を行って ください。本体から電池を外しても、バックアップ機能で約5日間データは保護 されます。(電池を入れて24時間以上経過後の場合)

電源を入れる (ON / OFF)

<POWER> ボタン、または < ジョグダイヤル > を押して電源を入れます。電 源を切る場合は、<POWER> ボタンを押してください。< ジョグダイヤル > から電源を切ることはできません。

オートパワー OFF 機能

本機の電源を入れたまま3分間操作をしないと、自動的に電源が切れます。再 び使う場合は電源を入れ直してください。

注意

- 通信中は <POWER> ボタンを押しても、電源を切ることができません。
 - モニタリング中はオートパワー OFF 機能は作動しません。

淮

備

日付・時刻を合わせる

正確な測定のために、パソコンと RTR-57U の日付・時刻が正しいか確認を してください。設定が正確でないと、予約スタートの開始時刻、吸い上げた データの記録時刻が違ってしまいます。

メインメニューより[ドウサ セッテイ]ー[ジコク セッテイ]を実行します。



2. 数値の設定をします。



- ① < ジョグダイヤル > を回すと、数値部分が反転しながら[年 月 日 時 分]の順に移動し、押すと数値が点滅します。
- ② < ジョグダイヤル > を回して数値を設定し、押すと 数値が確定され、次の項目に移ります。
- 3. 設定が完了したら、[OK] に合わせ、実行すると、設定が完了します。



パソコンからパソコンのシステム時計を使って日付・時刻の設定ができます。 詳細は付属ソフトウェア T&D Recorder for Windows 中のヘルプ、または T&D Recorder for Windows の取扱説明書を参照してください。

準備:パソコンとの通信

記録データの吸い上げ、条件設定変更等で、パソコンと直接通信を行う場合、 USB 通信ケーブル (付属)、またはシリアル通信ケーブル (オプション)を使っ て接続します。

- 記録データの吸い上げ・編集等は、付属のソフトウェアで行います。ソフト ウェアの使い方は、T&D Recorder for Windows 中のヘルプまたは、T&D Recorder for Windows の取扱説明書を参照してください。
- T&D Recorder VLD for Windows をご使用の場合は、デバイスドライバインス トール後に、T&D Recorder VLD for Windows 中のヘルプまたは取扱説明書を 参照してください。

USB 通信:パソコンと RTR-57U の通信

注意

- パソコンと RTR-57U の通信を始める前に、USB デバイスドライバをインストール する必要があります。USB デバイスドライバをインストールすることで、パソコン が RTR-57U を認識できるようになります。

インストール方法は、T&D Recorder for Windows の取扱説明書内の [USB デバイス ドライバのインストール]を参照してください。



注意

- 通信ケーブルは、接触不良が起きないように正しい箇所に、確実に差し込んでください。
- 無線通信中はパソコンとの通信はできません。

11

淮

備

パソコンとデータロガーの通信

(RTR-5シリーズ・RVR-52・TR-5Sシリーズ・TR-5シリーズ)

パソコンから記録開始の設定や、データ吸い上げ等をする場合、下図のよう にデータロガーをセットしてパソコンと通信します。

また、無線通信機能がついたデータロガー(RTR-5シリーズ・RVR-52)をご利用の場合は、パソコンと通信して[子機登録]を行う必要があります。



- パソコンとRTR-57Uを、付属のUSB通信ケーブル、またはオプションのシリアルケーブル(RS-232C)で接続します。
- 2. RTR-57Uの上に、データロガーを図のようにセットします。
- 付属ソフトウエア T&D Recorder for Windows を起動し、各設定・デー タ吸い上げなどを行います。
 - 無線通信機能付データロガー (RTR-5 シリーズ・RVR-52) は、ご利用の前に[子機登録]を行ってください。
 子機登録については、T&D Recorder for Windowsの取扱説明書を参照してください。

シリアル通信:パソコンと RTR-57U の通信

オプションのシリアル通信ケーブル (TR-07C) で、パソコンのシリアルポー トから RTR-57U に接続します。



データロガーとの通信

RTR-57Uとデータロガーとの通信方法として、無線通信、光通信、ケーブル 通信があります。データロガーの機種によって使い分けてください。

無線通信(特定小電力無線):RTR-5 シリーズ・RVR-52

付属ソフトウェア T&D Recorder for Windows で子機登録を行った RTR-51/52/52Pt/53・RVR-52 のみ無線通信ができます。 子機登録については、T&D Recorder for Windows の取扱説明書を参照してく ださい。



無線通信距離は、障害物の ない見通しの良い直線距離 を目安としています。

無線通信では以下の動作ができます。(詳細は P.17~)

[記録データの吸い上げ]

離れた場所に設置されている子機 (RTR-51/52/52Pt/53・RVR-52) が記録したデー タを RTR-57U で吸い上げます。

[子機状態]

指定した子機の記録条件・現在測定値・電池残量等の確認ができます。

[記録条件の変更]

記録モード・記録間隔・記録開始時刻(予約スタート時)の変更ができます。

[設定値読み込み]

指定した子機の設定条件を RTR-57U に読み込めます。

[子機検索]

通信可能な子機名の頭に[4]マークを表示します。

[モニター動作]

子機の現在測定値を設定間隔毎に通信し、グループ単位で順次液晶に 表示します。

[1 台の子機を複数台の RTR-57U で通信する]

複数台の RTR-57U に同じ内容の子機情報を登録しておき、それぞれの RTR-57U から子機の情報を見たり、記録開始設定、記録データの吸い上げ等 の処理ができます。

RTR-57U に同じ内容を登録したい場合は、付属ソフトウェアから登録情報の 転送ができます。詳しくは、T&D Recorder for Windows 中のヘルプ、または T&D Recorder for Windows の取扱説明書を参照してください。



注意

- RTR-57U 複数が同時に通信すると、通信エラーになります。
- RVR-52 測定モードの変更は付属ソフトウェア T&D Recorder for Windows で行ってく ださい。

準

備

光通信:RTR-5シリーズ・RVR-52・TR-5Sシリーズ・TR-5シリーズ



ケーブル通信:TR-7 シリーズ



光通信・ケーブル通信では以下の動作ができます。(詳細は P.25~)

[記録データの吸い上げ]

データロガーが記録したデータを RTR-57U で吸い上げます。

[記録条件の設定]

記録モード・記録間隔・記録開始時刻(予約スタート時)の設定ができます。

[設定値読み込み]

RTR-57Uに接続しているデータロガーの設定条件を読み込めます。

基本的な機能:無線通信

付属ソフトウェア T&D Recorder for Windows で、子機登録を行った RTR-51/52/ 52Pt/53・RVR-52 のみ無線通信ができます。 無線通信を行うときはアンテナを伸ばしてお使いください。

使用するデータロガーの子機登録

RTR-57U の子機としてデータロガーを登録する必要があります。 子機登録は T&D Recorder for Windows で行います。 登録方法は T&D Recorder for Windows のヘルプ、または T&D Recorder for Windows の取扱説明書を参照してください。

無線通信できる各設定、および動作は以下のとおりです。

- 記録モード(ワンタイム/エンドレス)
- 記録間隔(記録インターバル)
- 記録開始時刻の設定(即時スタート/予約スタート)

記録モードと記録間隔の設定

注意

- RVR-52の測定モードは無線通信では変更できません。付属ソフトウェア T&D Recorder for Windows で行ってください。
- 1. メインメニューより[キロクカイシ]-[WL ワイヤレス]を実行します。



2. 記録条件を設定したい子機を選びます。

ループを選びます。



子機または、グループー括 を選びます。

- 子機を選択する前に[子機検索]機能で、通信可能な子機を検索して おくと、通信可能な子機名の頭に[**分**]マークが表示されます。 ("子機の検索"P40を参照してください)



3. 記録条件を設定します。

現在の記録条件を変えず、記録のみ再スタートしたい場合は、子機を 指定し、[設定値読み込み]を行ってから記録開始してください。



[記録モード]

ワンタイム→1:記録データ数が記録容量に到達すると、記録を停止します。 エンドレス :記録データ数が記録容量に到達すると、1番古いデータ から上書きしながら記録を続けます。

[記録間隔(インターバル)]

計 15 通りの中から選べます。< ジョグダイヤル > を回して数値を選び、 <ジョ グダイヤル > を押すと設定されます。

1, 2, 5, 10, 15, 20, 30sec. (秒)

1, 2, 5, 10, 15, 20, 30, 60min. (分)

注意

イベント記録の場合は記録間隔の設定ができません。

[設定値読み込み]

子機を指定し、記録条件設定画面の[セッテイチ ヨミコミ]を実行すると、子機 と通信を開始し、しばらくすると子機の記録条件が表示されます。記録条件を変 えず記録スタートしたい場合などに便利です。ただし、グループー括で選択した 場合は読み込むことはできません。

[条件初期化]

[条件初期化]に合わせて実行すると初期設定に戻ります。

初期設定値 / 記録モード:エンドレスモード

記録間隔 : 10 分 チャンネル名 / 1 チャンネル : ch.1 2 チャンネル : ch.2

記録開始時刻(即時スタート/予約スタート)の設定

記録条件設定後、記録開始時刻を設定します。RTR-57U 本体の日付・時刻が正し いか、確認してから実行ください。

("日付・時刻を合わせる "P10 を参照してください)

 即時スタートか、予約スタートを選択して実行します。[即時スタート] を実行した場合、記録条件が子機へ送信され、記録を開始します。

注意

-[即時スタート / 予約スタート]を実行するとデータロガー内の記録データが消えてし まいます。必要な記録データを吸い上げてから実行してください。



2. [予約スタート]の場合、予約時刻を確認して実行します。



記録条件の送信が終了すると、通信終了メッセージが表示されます。
 ジョグダイヤル > を押すと、メインメニュー画面に戻ります。

無線通信による記録開始の禁止

パソコンで記録条件の設定を行った場合、[無線通信スタート設定]の項目で[禁止] または[許可]を選択することにより、無線通信による記録スタートの開始および 変更が制限されます。[禁止]にチェックされていると、無線通信での記録スター トは無効となります。



[保護解除の方法]

パソコンで[記録スタート] 画面から詳細設定を行ってください。付属ソフトウェ ア T&D Recorder for Windows 中のヘルプまたは、T&D Recorder for Windows の 取扱説明書を参照してください。

基本 無線通 な ĩ

記録データを吸い上げる

付属ソフトウェア T&D Recorder for Windows で、子機登録を行った RTR-51/52/ 52Pt/53、RVR-52 のデータを、無線通信によって RTR-57U に吸い上げます。 1 分間に約 2000 データ(イベント記録の場合は約 1000 データ)の吸い上げを行 います。

1. メインメニューより [WL データ スイアゲ] を実行します。



2. 記録条件を設定したい子機を選びます。



 グループを選択する 子機が登録されているグループを選びま す。

②子機名を選択する

子機を選択する前に通信可能な子機を検 索しておくと、通信可能な子機名の頭に [4]マークが表示されます。 ("子機の検索" P40 を参照してください)

3. [WL キロク データ] を実行します。



吸い上げ期間を設定し、[スイアゲカイシ]を実行すると、通信が開始し、データを吸い上げます。



吸い上げ期間

[吸い上げ期間を設定する]

RTR-51/52/52Pt/53 と RVR-52 は吸い上げ期間を設定できます。

- 全てのデータ(ALL DATA)

-1~47時間(1時間刻み)

-2~300日間(100日までは1日間刻み、100日以降は5日間刻み)

子機に保存されているデータより前の吸い上げ期間を指定した場合、子機に保存 されてるデータを全て吸い上げます。

基本 的な [無線诵

記録データ吸い上げ後のメッセージ

吸い上げが終了すると以下のようなメッセージが表示されます。



[メモリオーバー]

目安として、RTR-51 フルデータ (16000 データ)で 16 台分 (256000 データ)、 メモリーに残りがあっても最大 250 回までです。

必要な記録データはパソコンで吸い上げ、および保存し、RTR-57U本体に保存 されているデータを削除してから、吸い上げを行ってください。

(データの削除方法は P.47 ~、メモリー使用量の確認方法は P.52 を参照してく ださい)
基本的な機能:光通信とケーブル通信

無線通信機能を持たないデータロガーをご利用の場合、または無線通信機能を使わ ず、RTR-57Uとデータロガーを接続して、設定やデータ処理等を行う場合、お使 い頂く機種によって2通りの通信方法(光通信/ケーブル通信)があります。

光通信

RTR-5 シリーズ、RVR-52、TR-5 シリーズ、TR-5S シリーズ



注意

- モニタリングモードを解除して行ってください。

「光通信・ケーブル通信

ケーブル通信

TR-7U・TR-7S シリーズ



RTR-57U本体から設定および変更できる動作は以下のとおりです。

- 記録モード (ワンタイム/エンドレス)
- 記録間隔(記録インターバル)
- 記録開始時刻の設定(即時スタート/予約スタート)

注意

- RVR-52 の測定モードは、付属ソフトウェア T&D Recorder for Windows で、パソコン から設定変更を行ってください。
- RTR-57U から記録条件の変更すると、チャンネル名が変わります(RTR-51/52/52Pt/53-RVR-52 はグループ名、子機名なので影響しません)。実行前に " 設定値読み込み "P28 を行うと、チャンネル名は変わりません。

記録モード / 記録間隔の設定

1. メインメニューより[キロクカイシ]→[ダイレクト]を実行します。



記録条件を設定します。現在の記録条件を変えずに、記録のみ再スタートしたい場合、子機を指定し、"設定値読み込み "P28 を行ってから記録開始してください。



[記録モード]

ワンタイム |→|: 記録データ数が記録容量に到達すると、記録を停止します。

エンドレス **(**): 記録データ数が記録容量に到達すると、1番古いデータから 上書きしながら記録を続けます。

[インターバル(記録間隔)]

計 15 通りの中から選べます。<ジョグダイヤル>を回して数値を選び、<ジョグダイヤル>を押すと設定されます。

- 1, 2, 5, 10, 15, 20, 30sec. (秒)
- 1, 2, 5, 10, 15, 20, 30, 60min. (分)

注意

- イベント記録の場合は記録間隔の設定ができません。

- TR-71/72 は 15, 20sec. (秒)、15, 20min. (分)の設定ができません。

- TR-51/51A は 1, 2, 5, 10, 15, 20, 30sec. (秒)の設定ができません。

[設定値読み込み]

子機を指定し、記録条件設定画面の[セッテイチ ヨミコミ]を実行すると、子機 と通信を開始し、しばらくすると子機の記録条件が表示されます。記録条件を変 えず記録スタートしたい場合などに便利です。

[条件初期化]

[条件初期化]に合わせて実行すると初期設定に戻ります。 初期設定値 / 記録モード:エンドレスモード

記録間隔:10分

チャンネル名/1チャンネル:ch.1 2チャンネル:ch.2

記録開始時刻(即時スタート/予約スタート)の設定

記録条件設定後、記録開始時刻を設定します。パソコンおよび、BTB-57U本体 の日付・時刻が正しいか確認してから実行ください。(P10 参昭)

1. 即時スタートか、予約スタートを選択して実行します。 [即時スタート] を実行すると、記録条件が子機へ送信され、記録を開始します。

注意

- 「 即時スタート / 予約スタート] を実行するとデータロガー内の記録データが消えてし まいます。必要な記録データを吸い上げてから実行してください。



「予約スタート」の場合、予約時刻を確認して実行します。



 記録条件の送信が終了すると、通信終了メッセージが表示されます。 <ジョグダイヤル>を押すと、メインメニュー画面に戻ります。

圡 ーケーブ 的

な

ī٧ 機

僵 能

記録データを吸い上げる

RTR-57U本体にデータロガーを接続します。(P.16 参照) 1. メインメニューより [データ スイアゲ]を実行します。



 吸い上げ期間を設定し、[スイアゲカイシ]を実行すると、通信が開始 され、データを吸い上げます。



吸い上げ期間

[吸い上げ期間]

RTR-51/52/52Pt/53、RVR-52、TR-51S/52S は吸い上げ期間を設定できます。

- 全てのデータ(ALL DATA)
- -1~47時間(1時間刻み)
- -2~300日間(100日までは1日間刻み、100日以降は5日間刻み)

子機に保存されているデータより前の吸い上げ期間を指定した場合、子機に保存 されてるデータを全て吸い上げます。

記録データ吸い上げ後のメッセージ

吸い上げが終了すると以下のようなメッセージが表示されます。

注意

- TR-71U/72U の吸い上げデータは、リスト上では TR-71S/72S と表示されます。



[メモリオーバー]

目安として、RTR-51 フルデータ(16000 データ)で16 台分(256000 データ)、 メモリーに残りがあっても最大 250 回までです。必要な記録データはパソコン で吸い上げ、および保存し、RTR-57U本体に保存されているデータを削除して から、吸い上げを行ってください。

(削除方法は P.47 ~、メモリー使用量の確認方法は P.52 を参照してください。)

玉

的な

基本的な機能:グラフ画面

RTR-57U で吸い上げた温度・湿度・電圧・パルスのデータをグラフ表示します。 グラフは 1 チャンネル毎に表示され、<ジョグダイヤル > や本体のボタンによって 左右にスクロールできます。

グラフの見方



1. 表示チャンネル

記録データが2チャンネル分ある場合、< ジョグダイヤル > を長押し(約1.5秒) するとチャンネルが切り替わります。

2. スケール

スケールの縦軸は温度・湿度・電圧・パルス、横軸は時間です。

3. 単位

[C]:温度 [%]:湿度 [V]:電圧 [P]:パルス

4. カーソル

吸い上げ期間全体でどの部分が、グラフ表示されているのか示しています。 RTR-57U 本体の < ジョグダイヤル >、<Collect> / <List> ボタンでスクロールで きます。スクロールした情報はデータ情報に反映されます。

5. カーソルバー(固定表示)

カーソル位置を縦破線で表示しています。データ情報に詳細が反映されます。

6. 上下限值判定結果

上下限値判定設定がしてある場合の判定結果です。

7. 上下限值判定範囲

上下限値判定設定がしてある場合、範囲を横破線で表示しています。 (上下限値判定範囲の設定は P.36 ~を参照してください。)

8. データ情報

カーソルバー位置の測定情報が表示されています。



↑: 立ち上がり (OFF → ON)
 ↓: 立ち下がり (ON → OFF)

[グラフ画面] 基本的な機能

基本的な機能:イベントリスト画面

RVR-52 で記録したイベントデータを RTR-57U で吸い上げると、イベントデータ 一覧を表示できます。

イベントリストの見方



1. 🛦 , 🔻

非表示部分にさらにデータがあることを示しています。RTR-57U本体の < ジョ グダイヤル > や、<Collect> / <List> ボタンによって上下にスクロールしてくだ さい。

2. 記録データ数

カーソルで示したデータが、全データ中何番目に記録されたものかを示していま す。(上図の場合、カーソルが 8000 データ中 773 番目のデータにある)

3. 矢印

↑: 立ち上がりデータ ↓: 立ち下がりデータ \$: 1秒間以内に両方あったデータ イベントは入力電圧 0 ~ 30V の範囲内で、1 秒以上持続した波形の立ち上がり(Lo → Hi)および、立ち下がり(Hi→Lo)の時刻を、1 秒毎に測定し、変化があった 時刻を記録します。

立ち上がり、立ち下がりの変化例



1秒間内に立ち上がり、立ち下がり、両方あった場合



[イベントリスト画面]

上下限値設定

測定値の上限値・下限値の範囲を設定しておくと、記録データの吸い上げる時、記 録データが設定範囲内かを判定し、判定結果を表示します。ただし、パソコンで子 機の上下限値を設定した場合、そちらの設定値が優先されます。

メインメニューより[ドウサセッテイ]-[ジョウカゲンセッテイ]を実行します。



2. 設定したい項目に矢印を合わせ、実行します。



3. [ハンテイ OFF] に矢印を合わせ、実行すると [ON] に変わります。



4. 上下限値に矢印を合わせ、実行すると数値変更の画面が表示されます。



5. 設定後、矢印を[モドル]に合わせ実行すると、設定終了します。

* パソコンから設定する場合は、付属ソフトウェア T&D Recorder for Windows の 中のヘルプまたは、T&D Recorder for Windows の取扱説明書を参照してください。

保存データの判定結果を見る

メインメニューより[データソウサ・リスト]を実行し、リストから判定したいデータを選びます。



- 2. < ジョグダイヤル > を押すとメニューが表示されます。
- 3. [ハンテイ]を実行すると、判定結果が表示されます。



その他の機能

子機状態を表示

指定した子機の情報(記録条件・現在測定値等)を、無線通信で確認できます。 **1.** メインメニューより [WL データスイアゲ]を実行します。



子機が登録されている[グループを選択]-[子機名選択]で、子機を特定します。



- 子機を選択する前に子機検索で通信可能な子機を検索しておくと、通 信可能な子機名の頭に[**4**]マークが表示されます。 ("子機の検索"P40を参照してください)
- [WLコキジョウタイ]を実行すると通信を開始します。終了後、子機の情報が表示されます。



子機状態表示例



画面の左下に[▼]が表示されている場合、非表示部分に上下限の設定値と判定 結果があります。<ジョグダイヤル>を回して確認してください。



[パルスデータの場合]



[RVR-52 イベント記録モードの場合]



その他の機能

子機の検索

無線通信でグループ・子機を指定して設定等を行う場合、あらかじめ子機検索をしておくと、通信可能なグループ・子機名の頭に [**ヶ**] マークが表示されるので、グルー プ・子機の選択が容易になります。

1. メインメニューより [WL コキ ケンサク] を実行します。



検索範囲選択し、実行すると検索を開始します。



- [全てのグループ]を選んだ場合 RTR-57U に登録されている各グ ループの子機の検索を開始します。
- [グループ指定] を選んだ場合 グループを指定してから子機の検 索を開始します。
- 検索が終了すると、通信可能な子機のみリスト表示されます。
 子機を特定して実行すると[データスイアゲ]メニューが表示されます。





注意

- [**4**]マークは、通信不可能になった場合でも、新たに子機検索をするまで表示されます。
- 検索時間は登録したグループ数や子機数など条件等で異なりますが、1グループあたり約20秒です。よって1グループあたり20秒×登録グループ数が検索にかかる通信時間になります。

他の RTR-57U で登録した子機を検索する

グループ名、周波数チャンネルが一致する場合、他の RTR-57U に登録されて いる子機を無線通信で検索し、取り込むことができます。複数のデータコレ クタからデータロガーと通信ができるようになります。

1. メインメニューより [WL コキ ケンサク] を実行します。



検索範囲選択し、実行すると検索を開始します。



検索するグループに、<ジョグダイヤル>を合わせて長押しします。



検索結果

他の RTR-57U で登録された子機は、[Sr] ではじまる子機名で取り込まれます。 3 ケタの数字は、登録されたときの子機の順番を示すものです。



その他の機能

モニタリング

RTR-51/52/52Pt/53, RVR-52 をグループ単位で巡回通信し、現在値を順次液晶に表示します。

注意

- モニタリング中はパソコンとの通信はできません。パソコンと通信する際はモニタリン グモードを解除して行ってください。

-実行前に "モニタリングの通信時間について "P.44 も参照ください。

1. メインメニューより [WL モニタリング] を実行します。



2. モニター間隔を設定してから、表示範囲を選択します。



□[モニターカンカク]に矢印を合わせて
 マジョグダイヤル>を押すと点滅します。
 ② <ジョグダイヤル>を回して、数値を選択します。
 ③ <ジョグダイヤル>を押すと数値が確定します。

3. < ジョグダイヤル > を押すと通信を開始します。

モニター表示範囲

表示範囲[スベテノ グループ](全てのグループ)の場合

RTR-57U に登録されている各グループの全ての子機を、無線通信で順番に検索 した結果、通信可能だった子機の現在値を、2秒毎に切り替えて表示します。表 示可能台数は、最大120台までです。121台以降は表示されません。

表示範囲 [グループ シテイ] (グループ指定)の場合

指定したグループの全ての子機を無線通信で検索し、全ての子機の現在値を2 秒毎に切り替えて表示します。

通信不可能だった子機の現在値は [----] と表示されます。

モニター間隔

無線通信により子機の現在値を取得する間隔です。 15S・30S(秒)、1 ~ 60M(分/1分刻み)より選択できます。

検索が終了すると、グループ内の子機の現在値を順次(2秒毎)表示します。 RTR-53 は温度 - 湿度の順に表示されます。また、ブザー音の設定を ON に してある場合、判定結果が NG の時は " ピピピピッ " と鳴ります。

[モニタリング結果表示例]



モニタリングの通信時間について

通信にかかる時間より短いモニター間隔を設定した場合、自動的に通信に必 要な時間に延長されます。また、モニター間隔が短いほど電池寿命が短くな ります。

登録したグループ数や子機数等条件によって、通信にかかる時間は異なりま すが、通信時間の目安は以下のとおりです。

注意

通信後に表示する時間として、1台あたり約2秒間を要します。

[スベテノグループ]での通信に必要な時間

1 グループあたりの最大登録子機数が 64 台設定してある場合:

(1 グループあたり約 24 秒)×登録グループ数

1 グループあたりの最大登録子機数が 250 台設定してある場合:

(1 グループあたり約 54 秒) ×登録グループ数

* さらに1台あたり2秒間表示時間がかかります。

[グループシテイ]での通信に必要な時間

最大登録子機数 250 台で約 54 秒

*さらに1台あたり2秒間表示時間がかかります。

保存データを表示・消去する

吸い上げたデータは、RTR-57U 本体に一時保存されています。保存されてい るデータを指定してグラフ表示したり、消去できます。

保存データリストの見方

メインメニューより[データソウサ・リスト]を実行するか、または本体の <List>ボタンを押すと、データ選択画面で保存データリストが表示されます。



[保存データ表示例]



- 子機登録してあるデータロガー以外は、チャンネル名が表示されます。
- 直接データロガーとパソコンを接続して記録条件を設定した時に、チャンネル 名を全角で入力した場合、チャンネル名は[……]と表示されます。
- 子グループ名、子機名は、各6文字まで表示されます。
- TR-71U/TR-72U の吸い上げデータは、データリスト上では TR-71S/TR-72S と表示されます。

グラフまたはイベントリストを表示する

1. 保存データリストから、表示したいデータを指定して実行します。



2. データの種類によって、それぞれを選択してください。

温度 / 湿度 / 電圧データの画面



[グラフヒョウジ](グラフ表示) を選択して実行します。

イベントデータの画面



[イベントリスト]を選択して 実行します。

指定したデータを消去する:個別消去

 メインメニューより[データソウサ・リスト]を実行、または <List> ボタンを押して、データ選択画面で保存データリストを表示します。





2. 保存データリストから、消去したいデータを指定して実行します。



3. [コベツショウキョ]に合わせて < ジョグダイヤル > を押します。 温度/湿度/電圧データの画面 イベントデータの画面



 確認メッセージが表示されます。よければ矢印を[OK]に合わせて<ジョ グダイヤル>を押します。



47

その他の機能

5. [ショウキョカンリョウ]メッセージが出て、<ジョグダイヤル>を押 すと、保存データリスト画面に戻ります。



続けて消去する場合は1.からの手順を繰り返してください。

全てのデータを消去する:全データ消去

 メインメニューより[ドウサセッテイ]-[ゼンデータ ショウキョ] を実行します。



 [ショウキョシマス フッカツ フカノウ]と、確認メッセージが表示 されます。よければ矢印を [OK] に合わせ < ジョグダイヤル > を押し ます。



 消去が完了すると[ショウキョカンリョウ]メッセージが出ます。<ジョ グダイヤル>を押すと、メインメニュー画面に戻ります。

注意

- -記録条件等の設定は消えません。記録条件は[記録開始]-[条件初期化]で初期状態に 戻せます。
- データ消去は、付属のソフトウェアからもできます。詳しくは、付属ソフトウェア T&D Recorder for Windows の中のヘルプ、または T&D Recorder for Windows の取扱説明書 を参照してください。

電波の使用状況を確認する:動作設定

設置場所等により、特定の周波数で他の無線通信や、妨害電波がある場合、 本来の通信性能が発揮できない事があります。

子機登録前にあらかじめこの機能で電波状況を確認し、新規グループ作成時 に空いている周波数チャンネルを指定する事で、妨害を避けて無線通信する 事ができます。

電波強度は 10 段階で表示され、スケールが大きいほど、電波が強い状態を 示します。



- メインメニューより[ドウサセッテイ]-[デンパカクニン]を実行します。
- 2. 一度に4つのチャンネルを表示します。
- <ジョグダイヤル>を押すと電波モニタ表示を終了し、動作設定画面 に戻ります。

注意

[デンパカクニン]表示中にはオートパワー OFF 機能は働きません。

その他の機能:動作設定

[メインメニュー画面]-[ドウサセッテイ](動作設定)内にある、その他の 便利な機能について説明します。

液晶画面の調整:表示コントラスト

メインメニューより[ドウサセッテイ]-[ヒョウジコントラスト]を実 行します。



<ジョグダイヤル>を上に回すと液晶表示が濃くなり、 下に回すと薄くなります。 [モドル]に合わせて実行すると、[動作設定]画面に戻り、 設定が完了します。

液晶照明の設定:バックライト

バックライトを設定しておくと、暗いところで液晶画面を確認できます。メ インメニューより[ドウサセッテイ]-[バックライト]を実行します。



バックライトが必要な場合は、矢印を [ON]に合わせて実行し、現在の設定表 示が切り替わったか確認してください。 [モドル]に合わせて実行すると、[動作 設定]画面に戻り、設定が完了します。

消音設定:操作ブザー

操作音の ON/OFF を設定できます。メインメニューより [ドウサセッテイ] -[ソウサブザー] を実行します。



操作ブザー音が不要な場合は、矢印を [OFF] に合わせて実行し、現在の設定表 示が切り替わったか確認してください。 [モドル]に合わせて実行すると、[動作 設定] 画面に戻り、設定が完了します。 その他の機能

メモリー使用量を確認する

メインメニューより[ドウサセッテイ]-[メモリー シヨウリョウ]を実行 します。



保存データ数と使用量(%)を確認できます。 [モドル]に合わせて実行すると、動作設定 画面に戻ります。

保存データ数と使用量



*1: 何時間前(何日間前)からのデータを吸い上げるか選択できます。



その他



データ吸い上げ してい上げ開始 → 終了後、グラフを表示







その他

55

対応機種	RTR-51 · RTR-52 · RTR-52Pt · RTR-53 · RVR-52 TR-51S · TR-52S · TR-51 · TR-51A · TR-52 TR-71U · TR-72U (TR-71S · TR-72S) · VR-71
記録容量	RTR-51 のフルデータ相当で 16 台分 16000 データ× 16 = 256000 データ フルデータでなければ最大 250 回分まで保存
機能	接続機器のデータ吸い上げ(吸い上げ終了時、上下限値判定表示可能) 保存データのグラフ表示・イベント時刻リスト表示・ 保存データの最大値/最低値の表示(総パルス数パルスデータ)・ データロガー機器の記録・開始設定・ 保存データの消去(1データ消去、全消去)・モニタリング・子機検索・ 電波確認
液晶表示	動作メニュー・保存データグラフ / イベントリスト表示・ 電池寿命警告・カレンダー付時計・コントラスト調整可能・ 液晶バックライト
電源	単4アルカリ電池2本 / 専用 AC アダプタ(オプション) オートパワー OFF 機能 (3 分間操作をせずに放置すると自動的に電源を OFF にします。)
データバックアップ	電池を外して約5日間(電池を入れて24時間以上経過している本体の場合) 電池使用で約1年間(電池電圧がなくなると保存データはなくなります)
無線方式	特定小電力無線(ARIB STD-T67)
無線通信距離	約 100m (見通しの良い直線に於いて)
インターフェース (PC間)	USB RS-232C(シリアル)
インターフェース (データロガー間)	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー

通信時間	- RTR-57U 内の保存データパソコン転送時間 USB:データフルで1台約5秒 シリアル:データフルで1台約25秒 - 各データロガーから RTR-57U に転送 RTR-51/52/52Pt/53/RVR-52 無線遺信:データフルで1台約420秒 TR-7シリーズ有線通信:データフルで1台約50秒 TR-5S/TR-5/RTR-5シリーズ光遺信:データフルで1台約160秒
本体寸法	H125 mn× W58 mn× D23.8 mn (突起部除く アンテナ長 :20 mn 伸ばした時 105 mn)
本体質量	約 125g(単 4 アルカリ電池含む)
本体動作環境	温度 : 0℃~ 50℃・湿度 : 90%RH 以下(結露しないこと)
付属品	USB 通信ケーブル 1 本(US-15C) 単 4 アルカリ電池(LR03)2 本 本体取扱説明書(保証書)・ソフトウェア取扱説明書 各一式 ソフトウェア 一式

その他

RS-232C 通信ケーブル

TR-6C10 (TR-71U/72U 用) ケーブル長約1m TR-71U/72UとTR-57U/RTR-57U間の通信時に使用



TR-4C10 (TR-71S/72S/VR-71 用) ケーブル長 約1m

TR-71S/72S と TR-57U/RTR-57U 間 の通信時に使用



TR-07C (PC 接続用)

ケーブル長 約 1.5 m パソコンと TR-57U/RTR-57U 間 の通信時に使用



AC アダプタ

AD-0601 AC アダプタ ケーブル長 1.85 m

製品に関するお問い合わせ先

株式会社 ティアンドデイ

http://www.tandd.co.jp/

〒390-0852 長野県松本市島立 817-1 TEL:0263-40-0131 FAX:0263-40-3152

お問い合わせ受付時間

月曜日~金曜日(弊社休日は除く) 9:00~12:00 / 13:00~17:00

Wireless Data Collector RTR-57U

取扱説明書

2009 年 04 月 第 7 刷 発行 株式会社 ティアンドデイ

Copyright T&D Corporation. All rights reserved.

Wireless Data Collector RTR-57U 保証書

仴	和期間	間 お買い上げの日から1年間					
+>	お名前	F					
名客	ご住所						
様	電話番号						
お買い上げ年		年月日		年	月	B	
販							
売	住所						
店							
名	電話番号						
Ż	対象部分 本体		≤体	修理方法		持ち込み修理	
説説明書に従い正常な使い方で保証期間内に故障した場合は、本書の記載内容により 無料で修理致します。 お買求めの販売店にご連絡の上、修理に際して本書をご提示ください。							

無料修理規定

- 取扱説明書に従った正常な使い方で故障した場合には、お買い上げの販売店を窓口として無料で修理いたします。
- 2. 保証期間内に故障して無料で修理を受ける場合は、商品と本書をご提示のうえ、お買い 上げの販売店に依頼してください。
- 3.お買い上げ後に転居された場合、あるいは贈答品として入手された場合など、販売店への依頼が困難な場合は、当社までお問い合わせください。
- 4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) お取扱上の不注意、天災、火災、公害、指定以外の電源による故障・損傷の場合。
 - (ロ) 当社指定技術者以外の方が、修理・調整・分解・改造などをされたもの。
 - (ハ) お買い上げ後の輸送・移動・落下に起因する故障および損傷。
 - (二)本書のご提示がない場合、または本書に必要事項の記入が無い場合。
- 5. 本書は日本国内においてのみ有効です。また、本書は再発行いたしません。
- * この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するもので あり、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。なお、 保証期間終了後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または当社ま でお問い合わせください。

株式会社 ティアンドディ

〒390-0852 長野県松本市島立 817-1 TEL:0263-40-0131 FAX:0263-40-3152